



会 議 報 告

会 議 名	第8期東久留米市市民環境会議第8回全体会
日 時	令和5年7月28日(金)10時00分～11時20分
場 所	東久留米市役所 704A 会議室
出席委員	菅谷座長、土屋副座長・水とみどり部会長、小山くらし部会長、駒田環境学習部会長、川田水とみどり副部会長、半澤くらし副部会長、荒井環境学習副部会長、石川委員、井原委員、曾我部委員（10名）
欠席委員	沖内委員、後藤委員、中野委員、別処委員（4名）
事 務 局	浅海環境政策課長、大木緑と公園係長、平井生活環境係長、後藤計画調整係主任
次 第	(1) 開会 ・ 出欠席数及び配布資料の確認 (2) 議事 ① 第7回全体会会議報告(案)について ② 第8期活動報告書について ③ 市長への提言について (3) その他
配布資料	【資料1】 第7回全体会会議報告(案) 【資料2】 第8期東久留米市市民環境会議活動報告書(案) 【資料3】 市長への提言書(案) 【資料4-1】 東久留米市市民環境会議全体経緯 【資料4-2】 近年の東久留米市の環境に係る施策と8期16年の市民環境会議の活動
内 容	(1) 開会 ○ 出欠席数及び配布資料の確認(省略) (2) 議事 ① 第7回全体会会議報告(案)について ・ 承認された。 ② 第8期活動報告書について ・ 各部会から内容の概略について説明があった。 ・ 環境学習部会は第7回全体会で示していなかった、会議の開催内容について別表として新たに加えている。 ・ 環境学習部会の詳細な活動報告書は事務局に提出しているので、興味があれば事務局へ申し出てほしい。 ・ 報告書の「まとめ」「次期市民環境会議への提案」について座長から説明があった。 ⇒ 報告書の会議開催実績(P31)の第8回全体会の内容を更新したうえで、報告書として7月31日付で事務局に提出する。 (委員からの質問) ・ この報告書は、(案)を取った後、ホームページにアップされるのか? ⇒ 確認するが、これまでも掲載していたと思うので、今回もホームページに掲載することになると思う。 ③ 市長への提言について



○座長説明

- ・湧水・清流を後世にも残すために「市民一斉清掃日」を実施することを提案する。

○水とみどり部会長説明

- ・「湧水・清流保全都市宣言」の認知度が低いので、更なる周知を依頼する。
- ・緑に関しては、第8期の中で取り組めなかった現実があったので、来期も含めてできるような体制にさせていただけると嬉しい。市長自らの言葉も入れているので、読んでいただき、同じような考えを持っている人がいることをわかってもらいたい。

○くらし部会長説明

- ・市民を対象にした一斉清掃日を設定することを提言する。
- ・小学校高学年、中学生たちを対象にした社会奉仕活動としてのごみ拾い活動を提言する。
- ・日頃の生活ごみは清掃しておかないと、豪雨災害になると怖い感じがするので、防災面でも福利厚生面でも効果が期待できる。

○環境学習部会長説明

- ・「環境基本計画」や「かんきょう東久留米」など市の環境広報・对外発信を充実させることを提案する。
- ・環境面での前進に重要な市民参加、市民協働の一層の展開を期待する。

⇒提言書については（案）を取り、7月31日付で、事務局を通して市長へ提出する。

（委員質問）

- ・くらし部会の言う「福利厚生面」とはどういうことを指すのか？
⇒一般的な福利厚生とは捉え方が違うと思うが、様々な活動を経験した人たちから聞かれた言葉として、声を掛け合うという捉え方をしていたので、そのようにここでは言わせていただいている。
- ・市民環境会議の活動としての成果としては大変貴重なものなので、市長への提言もホームページにアップしていただけたらと考えているがいかがか？
⇒提言書の実現に時間を要するものや一定の検討が必要なものもある中でこのままホームページで市民に公表するというのがどのような効果、影響があるのかというところは慎重に考える必要があるので、現時点でホームページに公表することは考えていないので、ご理解いただきたい。
- ・市長には提言書が上がるのか？
⇒そのとおりである。
- ・市民環境会議の委員が定員割れしていることを所管としてはどのように考えているのか？
⇒市民環境会議が市民の方に浸透していない。存在自体も認識いただけないという現状もあると思う。東久留米市は湧水・清流保全都市宣言のまちということで、水と緑を中心に環境に興味を持っていただき、ご参加いただいていたので、これからは東久留米市の特徴を十分踏まえ、これを継承していく。地球温暖化、脱炭素化といった大きな課題もあり、議会の中では脱炭素化に向けた環境関連の市民会議、市民との意見交換会を設置してほしいというようなご意見も上がっているが、それは市民環境会議という媒体をもってそういったものに変えていると答弁をさせていただいている。SDGsや地球温暖化対策など広い視点からこの市民環境会議に参加していただけるよう、さらに充実するように広報の方もさらに充実させ、市民環境会議をさらに盛り上げていきたいと考えて



いる。

- ・行政の方でも頑張っていたきたいが、市民環境会議自体が市民環境会議の存在や活動をもっとアピールしていく必要があると思う。市民環境会議運営要領に三つの部会の役割が出ている。各部会の最後に必ず「その他部会の広報活動に関する事項」というのがある。各部会が広報活動を頑張ることを意識して、市民の皆さんに発信するということが必要だと思う。
- ・腕章を着けてごみ拾活動をしていると、市民環境会議の事が宣伝されるという話も伺っている。
- ・みのり塾でもサポーターとして加わっていただいて活動したことがある。定員は少ないが、1人1人のネットワークという形で、その方たちと一緒にやっていけば市民環境会議の存在や認知度が広がっていくと思っている。

(資料4-1及び資料4-2について)

○環境学習部会長から説明があった。

- ・資料4-1は、市民環境会議がどんなことをやってきたのかを詳細にまとめたものであるが、抜けているところがあるかもしれない。
- ・資料4-2は、これまでの市民環境会議がどんなことをやってきたかわかるようにしておくために作成した資料である。

○資料4-1、4-2の説明を踏まえて事務局から

- ・市民環境会議が充実するには、市民環境会議に参加していただくことでやりがいを感じていただかなければならない。
- ・環境基本計画の各種政策の実行することで、東久留米市の環境に関わっている、あるいは日常生活環境が改善されているというような満足感を得られるような取り組みを環境政策課と第9期の市民環境会議に参加を申し出た方々と一緒に考えて、発展させていきたいと考えている。

(3) その他

○各委員からの感想

- ・様々な活動をしているということは良かった。
- ・活動手順・表現方法・文章内容などが形式に強く捕らわれ、縛られている感じが強く、自由度がない。人間関係だけでなく、やらなければならない枠組みがあって、やらなくても良いという選択肢がなく、負担が大きかった。
- ・ボランティア精神があったとしても参加しづらい。
- ・市民環境会議の腕章やトングに「環境政策課」ラベルが貼ってあると、声をかけてもらえる。市民環境会議の存在をアピールする形にもなる。
- ・湧水を見たり、触れることができたり、そういうことはすごく勉強になった。
- ・市民環境会議に入って継続委員と新任委員との熱量の差を感じた。
- ・定員割れの問題も、熱量の差が要因になっているのかなと思う。
- ・知識としては全然なかったのが、ついていくのが精一杯だった。
- ・環境基本計画などの冊子があることを知らなかった。全く知らない人が多いと思う。一方で、実際に環境に興味のある人はたくさんいる。しかし、計画があることすら知らないことに問題があると思う。



- ・市民環境会議の垣根が高い。2年間の任期があるが、公募の期間が短くその間に知らないと応募できない。途中参加できる制度があると良い。一時期しか公募期間が無く、それに応募しなかったらこの先2年間は参加できないことになる。途中から入って、正委員でなくても、サポーターでも良いので、垣根を低くして、市民が参加できるような会議にしないと継続は難しい。
- ・市の方からデータをいただいて東久留米の地下水、水質、河川の事が見えてきた。市民環境会議に入ることによって、実際の確認することができたことは良かった。
- ・ウォーキングは委員の皆さんの協力がないとできなかった。
- ・湧水マップを配布したり、それなりの広報はしているが、なかなか市民環境会議に入るところに繋がらない。
- ・くらし部会は新しい企画を出してくれたり、サブ委員として各部会に相互乗り入れするなど、活発に動いてくれた。
- ・これからの市民環境会議について、事務局と話し合っていきたい。

○環境政策課長から

- ・第9期は楽しみながら活動していただきたい。
- ・継続されない方についても、別の形で環境活動や、東久留米市の環境を見守っていただければと思う。

以上